

平成 28 年度 公益財団法人とやま国際センター事業報告

I 国際化促進事業

(計画額 198,120千円 実績額 148,158千円)

1 国際交流事業

(計画額 3,442千円 実績額 1,683千円)

(1) 草の根国際活動助成

民間レベルの国際交流、国際協力及び多文化共生活動を奨励するため、国際交流団体等の自主的な活動に対し助成を行った。(単位:千円)

団体名	事業名	助成金額
富山県日韓親善協会	江戸時代の朝鮮通信使、日本の中の韓国文化、上映会	100
富山ネパール文化交流協会	ネパール国立舞踊団富山公演事業	100
富山ルーマニア友好協会	モルドバ共和国との交流フェスタ	100
南砺ラオス会	ラオス教員との教育とスポーツ交流	100

(2) とやま国際草の根交流賞

国際交流や国際協力活動を草の根レベルで実践している個人、団体を顕彰し、県民の国際交流・協力の意識の啓発、向上を図った。

時期: 11月1日(火)

会場: 富山県庁 4階 大会議室

表彰者

個人3 金 銀姫 (富山県日韓親善協会)
酒井 進 (富山県国際農業交流協会)
村田 善一 (富山市民国際交流協会)

団体3 魚津市日本語ボランティア
富山県立伏木高等学校 PTA
NPO 法人ふちゅうスポーツクラブ



(3) 国際交流フェスティバル

国際交流や国際協力などに取組む県内の団体の日頃の活動等を紹介するとともに、県民が異文化に触れ合う機会を提供した。

時 期：11月13日（日）
 会 場：富山駅自由通路、CICビル内
 参加者数：延べ約7,040名(29団体)
 主 催：国際交流フェスティバル2016実行委員会



2 国際協力事業

(計画額 88,597千円 実績額 79,801千円)

(1) 海外研修員等の受入

ア 海外技術研修員

開発途上国等に対する技術協力の一環として、富山県が受け入れる海外技術研修員の滞在中の日常生活等を支援した。

国名	人数	受入期間	研修機関
ブラジル	1名	4カ月	①YKK(株) ②BBS ジャパン(株)
ロシア	1名	4カ月	(株)富士薬品
中国	2名	6カ月	富山県国際課国際交流係
		6カ月	富山情報ビジネス専門学校
中国(短期)	1名	4カ月	(株)トヤマ・ヤポニカ

イ 多文化共生推進研修員

ブラジル人児童の学習支援のため、富山県が受け入れる多文化共生推進研修員の滞在中の日常生活等を支援した。



国名	人数	受入期間	研修機関
ブラジル	1名	6カ月	高岡市立野村小学校

(2) 外国人留学生への支援

ア 県費留学生の受入

富山県が県内の大学へ受け入れる留学生に対して滞在中の日常生活等を支援した。

区分	人数	受入期間	留学先
ロシア沿海地方留学生	1名	平成28年4月5日～29年3月18日	富山大学
中国遼寧省留学生	1名	平成28年4月2日～29年3月31日	〃
南米留学生	1名	平成28年4月4日～29年3月10日	〃
県立大学遼寧省留学生	1名	平成28年4月6日～29年3月28日	富山県立大学

イ 私費留学生への支援

(ア) 富山県国際交流奨学金の交付

県内の大学等に在籍する私費留学生のうち、成績が優秀で国際交流事業等へ参加の意思がある学生に対し奨学金を支給した。また、専門学校等で日本語を学ぶ学生に対し奨学金を支給した。

大学等在籍者	1年生	月額10千円支給	支給者数	35名
	2年生以上	月額50千円支給	支給者数	23名
日本語教育機関の学生		月額3千円支給	支給者数	112名

(イ) 国民健康保険の加入助成

私費留学生及び日本語教育機関の学生の国民健康保険加入促進のため助成金を交付した。

- ・助成額：年額12千円（本人負担分の約2/3）
- ・支給者数：私費留学生 187名
日本語教育機関学生 145名

(ウ) 留学生の住宅確保への支援

留学生が安定した居住環境で生活が営めるよう、住宅の賃貸借契約を行う際にとやま国際センターが連帯保証人となった。

引受件数 42件

ウ アセアン留学生の受入

県と県内企業が連携して実施する留学から就職までを一体とした留学生受入モデル事業によるアセアン留学生5名の滞在2年目の日常生活等を支援した。

留学生出身国	受入企業	受入期間	留学先
インドネシア	朝日印刷株式会社	H28. 1. 13～H30. 3. 31	富山大学 理工学教育部
ベトナム	黒田化学株式会社	H28. 1. 12～H30. 3. 31	富山大学 理工学教育部
インドネシア	中越興業株式会社	H27. 11. 30～H30. 3. 31	富山県立大学 工学研究科
インドネシア	東亜薬品株式会社	H27. 12. 7～H30. 3. 31	富山大学 医学薬学教育部
タイ	日医工株式会社	H28. 1. 13～H30. 3. 31	富山大学 医学薬学教育部

※受入企業の五十音順

新 エ 留学生が感じた富山の魅力発信事業

外国人留学生在が富山県の観光地等を訪れ、魅力に感じた見どころや富山での暮らしぶりについて、インターネット等により海外へ向けて発信する活動を支援した。

参加学生 外国人留学生 4名

(3) NOWPAPへの協力

国際連合の機関であるNOWPAP（北西太平洋行動計画）地域調整部富山事務所の活動が円滑に運営されるよう支援した。

(4) 青年海外協力隊事業への支援

青年海外協力隊をはじめとするJICAボランティア事業の帰国報告会の開催を支援した。

- ・青年海外協力隊富山県OB会活動補助金 80千円



(5) 海外移住者及び関連団体への支援

- ・在外県人会活動費補助金 1,270千円（ブラジル、アルゼンチン、ペルー）
- ・南米協会活動費補助金 1,000千円
- ・海外移住家族会活動費補助金 4,844千円

3 多文化共生事業

(計画額 5,296千円 実績額 4,564千円)

(1) 外国人のための生活相談等の実施

ア 生活相談

県内で暮らしている外国人が日常生活に必要な情報や個人的な悩み等を母国語で相談できるよう外国人の生活相談員や国際交流員を配置し、面談又は電話で対応した。

(対応言語) 英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語

(相談実績件数)

内容 国籍	情報	保険	在留	教育	医療	福祉	税金	労働	婚姻	法律	住宅	交通 事故	合計
ブラジル	14	7	16	3	20	8	3	5	7	1	2		86
ペルー			1									1	2
中国										1			1
フィリピン										1			1
合計	14	7	17	3	20	8	3	5	7	3	2	1	90

イ 電話通訳サポート

生活相談をリアルタイムで解決できるよう三者通話機（NTTトリオフォン）を活用し、具体的な照会先となる関係機関等と相談者の通訳サポートを行った。 利用件数：16件

(2) 外国人のための日本語学習支援ボランティアの育成・支援

ア 日本語ボランティア養成講座

外国人の日本語学習を支援するボランティア養成のための講座を開催した。

時期：7月3日～9月4日（南砺市）、
8月28日～10月23日（射水市）

回数：各5回

会場：福野産業文化会館（南砺市）、
大門総合会館（射水市）

受講者数：23名（内、南砺市6名、射水市17名）



イ 日本語教室アドバイザーの派遣

地域日本語教室へ日本語教育専門アドバイザーを派遣し、安定的運営とスキルの向上を図った。

派遣実績：太閤山日本語グループ 10回

日本語教室 in 氷見 16回

日本語教室 in 黒部 11回

にほんご広場 in なんと 13回

ウ 日本語ボランティアの研修会等参加費用の支援

地域の日本語教室で活動している日本語ボランティアが、自己研鑽のため文化庁等が行う研修会に参加する場合にその参加費用の一部を助成した。

助成実績：1名

(3) 外国語の絵本よみきかせ親子の会の開催

外国語の絵本の読み聞かせを通して、外国籍子どもには母国語や母国の文化に接する機会を提供し、日本人の親子に対しては海外の文化に出会う機会を提供した。



時 期：4月～3月 毎月第2土曜日（8月、2月のみ第3土曜日）

開催回数：12回（英語（9回）、中国語（1回）、ロシア語（1回）、ポルトガル語（1回））

会 場：環日本海交流会館

参加者数：延180名

(4) 外国人への防災情報提供

ア ラジオ番組「BOUSAI RADIO」による防災情報の提供

地震や台風など災害に関する防災情報をやさしい日本語、中国語、英語、ポルトガル語で提供するラジオ番組「BOUSAI RADIO」を放送した。

毎月第1・3土曜日 午後9時55分から5分間、FMとやまで放送

(5) 災害時の外国人支援のための防災訓練事業

ア 災害時外国人支援（やさしい日本語）ボランティアの養成

災害時における「やさしい日本語」による情報提供等研修会を県内日本語教室4か所で実施した。

時 期：6月25日～8月6日

開催回数：4回

参加者数：64名（日本語教室運営日本人サポーター等 43名、外国人参加者 21名）

会 場：氷見市いきいき元気館、南砺市福光公民館、砺波市文化会館

黒部市役所

イ 災害時外国人支援（多言語）ボランティアの養成

災害時における「多言語」での通訳、翻訳による情報提供研修会を実施した。

時 期：7月2（土）

会 場：砺波市文化会館

参加者数：11名

ウ 広域連携による実施訓練（石川県及び石川県国際交流協会と共同実施）

大規模災害時における石川県と連携した「災害時外国人支援ボランティア研修」を実施した。

時 期：7月31日（日）

会 場：石川県消防学校

参加者数：23名（富山県8名、石川県15名）

エ 富山県総合防災訓練への参加

富山県総合防災訓練において「災害時多言語支援センター」等の運営訓練を実施した。

時 期：8月27日（日）

会 場：砺波市文化会館駐車場

参加者数：25名

新（6）アセアン講座

著しい経済成長を遂げるアセアン諸国の文化や生活習慣をはじめ、各国の魅力を紹介する。平成28年度は、第1回としてインドネシアを取り上げた。



時期 10月16日（日）
場所 環日本海交流会館
内容 「インドネシアを知ろう！インドネシア文化講座」
講師 INJカルチャーセンター取締役兼インドネシア語主任講師
イワン・スティヤ・ブディ氏
参加者数 16名

4 国際理解・研修事業

（計画額 3,987千円 実績額 1,802千円）

（1）語学講座の開催

講座名	コース	期間	対象	受講者数
中国語	入門	5/30～3/13	初心者	15名
	初級	5/27～3/10	経験者（1年程度）	10名
韓国語	入門	5/24～3/7	初心者	36名
	初級	5/26～3/9	経験者（1年程度）	21名
	中級	5/30～3/13	基礎修得者	8名
ロシア語	入門	5/27～3/10	初心者	12名
ポルトガル語	初級	5/25～3/15	基礎修得者	13名

開催回数：各講座 35回

会場：とやま国際センター研修室

（2）国際理解出前講座

地域の国際交流協会や小中高校、大学などからの要望に応じて現場へ出向いて講座を開催し国際交流・国際理解・国際協力を促進した。

開催回数：59回

参加者数：延べ3,311名

講師：国際交流員、JICA職員、青年海外協力隊OB、留学生など

（3）国際交流サロン イングリッシュ・チャット

県民と県内で暮らす外国人ゲストが自国の文化や日頃感じていることなどを英語で自由に語りあった。

開催回数：21回

参加者数：延べ642名

会場：とやま国際センター談話室

（4）とやま国際塾

各国からの国際交流員、海外技術研修員、留学生との交流などを通じて、高校生の国際感覚の醸成を図るとともに、国際交流、国際協力や多文化共生に関心を高めてもらった。

時期：7月23日（土）～24日（日）

参加者数：高校生26名

会場：呉羽青少年自然の家、他



新（５）国際交流ひろば

富山県国際交流員が各国の文化を紹介する「国際交流ひろば」を４回開催した。

- 第１回 アメリカを聴こう ６月２５日（土） 参加者 ２２名
第２回 ロシアを体験する ８月２０日（土） 参加者 ２１名
第３回 ブラジルを楽しむ ９月１０日（土） 参加者 ９名
第４回 韓国を知る １１月１９日（土） 参加者 １７名
会 場：環日本海交流会館



（６）国際理解のための教材、国旗及び民族衣装の貸出し

（貸出実績）

- 教 材： １件（１団体）
民族衣装： １０２件（延べ ７団体）
国 旗： ８１件（延べ１７団体）

５ 情報サービス事業

（計画額 ３，２５０千円 実績額 ２，０７７千円）

（１）情報紙の発行

ア 「What's Happening」

内 容：県内で開催される各種国際交流イベントや国際交流事業等を紹介した。
発行言語：英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、日本語
発行部数：隔月 ２，１００部

イ 「TIC NEWS」

内 容：県内の国際交流・国際協力に関する情報、国際流団体の活動、海外からのレポート、とやま国際センターの事業等を報告した。
発行部数：年４回 各２，０００部

（２）多言語メールマガジン情報提供

内 容：外国人住民などに幅広く国際交流事業、イベント情報、生活情報、防災情報等を提供する多言語メールマガジンを配信した。
対応言語：英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、日本語
配信回数：１２回（４月～３月）
登録者数：１５１名（平成 29 年 3 月末）

（３）国際交流人材バンク

ア 国際交流人材の登録と紹介

（紹介実績）

区 分	件数	内 訳（人）	
通 訳 者	２０件	英語（１０）中国語（５）韓国語（２）タガログ語（２）タイ語（１）等	計： ３８名
翻 訳 者	３０件	英語（２８）中国語（４）韓国語（４）ポルトガル語（１）等	計： ２２名
ホストファミリー	１件		計： １名
日本語指導者	２件		計： ２名
海外事情紹介者	５件	韓国（１）タイ（１）カナダ（１）等	計： ６名

イ 通訳者の資質向上のためのセミナー開催

台湾語をテーマに、台湾語及び中国語の通訳者を主な対象にしたセミナーを開催した。

時 期：11月5日(土)

会 場：環日本海交流会館

受講者数：21名

内 容：「台湾語でおもてなし」

講 師：神田外語大学講師 林 虹瑛 氏



新(4) 広報PR事業

内 容：国際交流事業、イベント等において当財団の取り組む事業や講座を紹介するためのリーフレットを作成した。

対応言語：日本語

発行部数：2,000部

配布先：市町村、小・中・高校、大学、国際交流団体、財団関係者等

6 環日本海交流会館管理運営事業 (計画額 10,637千円 実績額 9,631千円)

(1) 施設管理運営費

県民と外国人の交流の場、国際交流団体やボランティアの自主的な活動の場、留学生や研修生等の活動の場として運営を行った。国際交流・国際協力に関する図書などの情報媒体を活用し、富山県をはじめ諸外国の情報提供を行った。

・総利用者数 26,341名

一般利用者数

区分	午前	午後	夜間	合計
人数	6,920	5,665	3,323	15,908

会議室利用者数

1,327件 10,433名 (うち、大会議室利用 149件 3,928名)

図書、DVD等の利用件数

区分	図書	DVD	CD
件数	1,370	210	36

7 富山県大連事務所運営事業 (計画額 31,051千円 実績額 25,515千円)

(1) 経済交流の推進

ア 訪問・来訪等による情報収集等 延277件

・来所…119件 (日系の企業等 70件、中国企業等 49件)

・訪問…158件 (日系の企業等 82件、中国企業等 76件)

イ 各種ミッション等に対する協力・支援

・日中経済協力会議(富山)への支援

・地方銀行合同商談会参加の支店長団への支援

・ものづくり総合見本市出展勧誘への支援

ウ 各種商談会、セミナー等の調査・視察

- ・大連地銀合同商談会、日中地域間交流推進セミナー、日本工芸展 in 上海、大連アカシア巡りウォーキング大会、旅順太陽溝文化産業区、大連「樂椿軒」高齢者ホーム ほか

エ 観光客の誘致

- ・中国の旅行会社等との面談、情報収集、PR等
- ・県外旅行業者等に対する富山きとくと空港利用体験ツアーへの支援
- ・冬の大連便インバウンド促進事業に対する支援
- ・県内放送局による上海・大連紹介番組の取材に対する支援
- ・遼寧師範大学の日本語学科生徒を対象にした観光情報等についてのPR
- ・「大連日本商品展覧会」、「天皇誕生日祝賀レセプション（瀋陽、大連）」等での観光PR活動

オ その他

- ・大連富山企業会の開催
(6月7日、9月22日、12月13日、2月27日)
セミナー、企業視察、意見交換会等の開催
- ・県内企業の中国への新規輸出調査に係る支援
- ・富山ー大連便の利用促進についての連絡調整、増便交渉等に係る支援
- ・県内外国人技能実習生受入れ団体の企業視察への支援



(2) 各種交流事業への支援

ア 学術研究交流団等の来訪時の研修・説明等への協力

- ・県内高等教育機関在籍学生の企業実務研修事業への支援
- ・遼寧省との揮発性有機化合物合同調査事業への支援
- ・大連日本人学校小学生5年生の校外学習に対する支援
- ・富山高等専門学校環境保全研究調査への支援
- ・富山大学、県立大学、金沢大学、北陸先端科学技術大学院大学の合同海外研修への支援

イ 要人等の来訪時の対応

- ・現地進出企業代表取締役等の来連対応
- ・静岡県議会中国事情調査団への対応

ウ 友好交流事業への協力

- ・砺波市日中友好交流協会盤錦市友好訪問団に対する支援

(3) 富山ファン倶楽部の活動

- ア 総会の開催（1月12日 瀋陽）
- イ 大連富山企業会と富山ファン倶楽部会員との交流会の開催（12月13日 大連）
- ウ 会員への富山県情報の提供
- エ 会員名簿の更新、新規会員の加入促進（会員数385名（3月末時点））

Ⅱ 日本海学推進事業

(計画額 8,003千円 実績額 6,621千円)

1 日本海学講座

TPPと北東アジア	(公財) 環日本海経済研究所 主任研究員 中島 朋義	7月9日(土)	参加者 56名
沈み込むプレートと日本海の形成	海洋研究開発機構 主任研究員 大林 政行	9月10日(土)	133名
弥生時代後半期の日本海沿岸地域—地域社会と交流の視点から—	富山大学人文学部 教授 次山 淳	11月12日(土)	80名
とやまの漁撈用具と和船	氷見市立博物館 主任学芸員 廣瀬 直樹	1月14日(土)	43名

2 日本海学シンポジウム

時 期：2月18日(土)

会 場：北日本新聞ホール

参加者数：220名

テ ー マ：

「いのち輝く森づくり・海づくり—高低差4,000m

のとやまから—」

基調講演：沖 大幹 氏(東京大学生産技術研究所教授)



3 大学講座等推進事業

	内 容	受講者数
富山大学	総合科目特殊講義「日本海学」に初鹿宏壮氏(富山県環境科学センター主任研究員)を派遣	約100名
富山国際大学	「環境デザイン特別講義」に中山純一氏((公財)環日本海環境協力センター調査研究部長)ほか2名を派遣	約50名
富山県立大学	「環境論Ⅰ」に山崎裕治氏(富山大学大学院理工学研究部理学領域准教授)を派遣	約250名
	「富山と日本海」に大田希生氏(水中カメラマン)ほか1名を派遣	約80名

4 日本海学研究グループ支援事業

助成実績 応募15件、助成7件、助成総額1,537,809円

平成27年度助成分成果発表会(9グループ・個人)

時 期：6月11日(土)

会 場：県民会館704号室

参加者：55名

5 環日本海学術ネットワーク特定テーマ研究支援事業

シンポジウム「北東アジアの環境問題—過去・現在・未来—」

期 日：12月13日(火)

場 所：富山国際会議場会議室

参加者：一般県民、研究機関研究者47名

6 富山湾の魅力体験親子教室

開催日：8月6日(土)、8月7日(日)

場所：富山高等専門学校臨海実習場、富山湾

参加者：6日 31名(子ども18名、保護者13名)

7日 39名(子ども22名、保護者17名)



Ⅲ 旅券関係事業

(計画額 43,857千円 実績額 35,982千円)

旅券の発給申請の受理及び交付事務の補助業務、旅券発給等に係る定期報告、統計資料の作成業務など旅券に関する業務を富山県旅券センター及び高岡支所で行った。

(旅券発行状況)

区分	平成28年度(件)	平成27年度(件)	対比(%)
新規発給	24,516	21,493	114.1%
渡航先追加	0	1	—
査証欄増補	74	96	77.1%
訂正	0	0	—